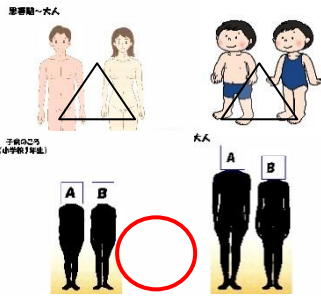


本校では教育目標を『賢、心、体』を兼ね備えた子供の育成」としており、アクションプランの重点目標を「互いのよさを認め合い、共に高め合うたくましい子供の育成」としている。4年の保健学習では体の発育・発達について理解できるようにすることを目標としている。これから起こる心身の変化や発達を肯定的に受け止め、自分の体だけでなく周りの友達も大切にし、相手の気持ちを考えた言動をしたり、それぞれの意見を尊重し合ったりする姿が見られる保健学習にしたいと考え、この時間のねらいを「思春期の男女の体つきの違いを理解し、まとめよう」とした。

	主な学習活動
導入	<p>★ 課題をつかむ。</p> <p>シルエットを見ただけで、大人の男女は区別がつく。</p> <p>子供は男女の体つきに性差がない。</p>
展開	<p>★ 男女それぞれの体つきの変化についてグループで話し合う。</p> <p>事前インタビューを基に、変化が起こったときの気持ちについて確認する。</p>
終末	<p>★ 学習した内容を肯定的に受け止められたかどうか確認する。</p> <p>自分の体に興味をもち、自分や身近な人の発育に理解ある態度で接しようとする。</p>



1 抵抗なく意見が言える資料提示の工夫

興奮して騒いだり、拒否感を感じたりする子供への配慮として、男女の体つきの変化をシルエット図で提示し、大人と子供の男女の体つきの違いを挙げさせるなどして視覚的に理解を促した。

2 学習への関心を高め、確かな理解を促すグループ活動

事前インタビュー（個人）を参考にキーワードカードを用いてグループ学習を行い、男女の体つきの変化について話し合い、整理した。友達が調べてきたインタビューの内容を聞くことで、多様な個人差についても理解を深めた。

3 授業の流れが分かる板書の工夫

グループ学習で使った男女の体つきの変化を整理した図と板書は、イラストとキーワードカードを同じ様式にした。このことにより友達の発表を聞きながらカードを動かしたり、教師の発問や解説を聞きながらキーワードを整理することが容易にできた。

4 ねらいとする知識・理解に対する思いや考えをまとめ、自分の生活につなげる工夫

「体つきに変化が起きている友達に相談されたら」という状況を想定し、その友達にアドバイスをするワークシートを用いた。



友達へのアドバイスを考える時、自分の現状をふまえて考える傾向があるが、相手の立場になって自分の素直な気持ちで友達にかける言葉を考えることで、互いに悩みを相談し合い助け合おうとする姿が見られた。